

科目名	建築概論	英語科目名	Introduction to Architecture
開講年度・学期	平成21年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科・1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(60時間単位)
担当教員	前期:尾立弘史,川上勝弥 後期:瀧澤雄三,横内基	居室(もしくは所属)	建築棟2階デザインスタジオ内、建築棟1階 建築棟3階、建築棟2階
電話		E-mail	
授業の達成目標			
尾立弘史担当	建築の幅広さを理解する。		
川上勝弥担当	安全な建物のしくみを理解する。		
瀧澤雄三担当	1. 建物が建てられない土地や地域があることを知る。 2. 自分の身の回りにもいろいろな建築法規が関係していることを知る。		
横内基 担当	建物の“かたち(構造)”と“造り方(施工)”を理解する。		
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
尾立弘史担当	建築の種類を表現できる。		
川上勝弥担当	レポートおよび定期試験により評価する。		
瀧澤雄三担当	定期試験により評価する		
横内基 担当	定期試験により評価する。		
評価方法			
尾立弘史担当	数回のレポートの内容で評価する		
川上勝弥担当	レポート(30%)、定期試験(70%)の比率で評価する		
瀧澤雄三担当	定期試験により評価する。(100%)		
横内基 担当	定期試験により評価する。		
授業内容			
尾立弘史担当			
1、ガイダンス、授業のすすめ方 4人で分担 建築の定義と範囲、用語、図面、コンピュータ、雑誌			
2、古今東西の建築100選			
3、現代建築1950年以降の世界の定番建築			
4、建築家無しの建築、遺跡			
5、4大文明 エジプト、中国			
6、 メソポタミア、インダス			
7、沸騰都市(ドバイ、ロンドン)			
【前期中間試験】			
川上勝弥担当			
8、中間試験			
9、中間試験の答案返却・解説、建築構造とは			
10、建物のしくみと材料(1)木造1			
11、建物のしくみと材料(2)鉄筋コンクリート造			
12、建物のしくみと材料(3)鉄骨造、その他の構造			
13、建物に作用する力と力学			
14、地震と建物			
【前期定期試験】			
15、定期試験の答案返却・解説、建物と環境			
瀧澤雄三担当			
1、「どこにでも家は建てられるのか？」(課題)			
2、上記課題に対するディスカッション			
3、家・まちと法律 (1)ハムラビ法、民法			
4、 同上 (2)都市計画法			
5、 同上 (3)建築基準法			
6、 同上 (4)その他の法律			
【後期中間試験】			
横内基担当			
8、世界の建築の様々な造り方			
9、自然と構造体			
10、建物の構造種別と構造形式			
11、建物の造り方(1)戸建て住宅			
12、建物の造り方(2)鉄筋コンクリート造建物			
13、建物の造り方(3)鉄骨造建物			
14、建物を地震に強くする構造技術			
【後期定期試験】			
15、構造とデザインの関係			
キーワード	世界の建築、建築構造、建築材料、家、まち、法律		
教科書	●瀧澤雄三担当：特になし。必要に応じプリントを配布		
参考書	---		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標	---		
JABEE基準1の(1)との関係	---		
カリキュラム中の位置づけ	---		
前年度までの関連科目	---		
現学年の関連科目	---		
次年度以降の関連科目	建築一般構造 建築を学ぶ全ての科目に関連する。		
連絡事項			
4名の担当教員で授業を行うため担当教員によって授業方法や採点方法が異なる。建築に関連する知識を深めるため日頃から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。			
シラバス作成年月日	2009年3月30日		